海外安全対策情報（２０１３年　１月～３月）

１　治安情勢及び一般犯罪の傾向

南ア国家警察の発表によると、過去１０年間での犯罪検挙率は、平均 48 パーセントであり、前の１０年間の検挙率は明らかにされていないが、数値は増加しているとしている。さらに同期間の重要犯罪発生率は、２３パーセント減少しているので、国内の治安は好転していると見ている。

しかしながら、過去３年間（２０１１年度までの）では傾向に変化が見られ、検挙率は３年前と比べ１８．５パーセント伸びているものの、総犯罪件数は微減であり、さらに２０１１年度には、検挙率は前年比１１パーセントの伸びで、総犯罪件数は約１パーセント増加しており、検挙件数の伸び率が小さくなる反面、犯罪発生件数が増加する傾向になりつつある。

２　殺人・強盗等凶悪犯罪・その他犯罪の事例

（１）殺人

＜邦人被害＞

情報無し

＜邦人関係以外の事例＞

・米国領事館の米国人職員が、刺殺される事件が発生した。被害者が午前１時頃に帰宅する際、ヨハネスブルグの自宅前で発生した。（１月中）

・大使館から南方約１５キロに位置するセンチュリオン地区で、女性が路上強盗に襲われ刺殺される事件が発生した。被害品は携帯電話のみであった。（１月中）

・ヨハネスブルグ空港付近の路上において、男性が路上強盗にけん銃で撃たれ死亡する事件が発生した。男性は妻及び３人の子供の前で殺された。（１月中）

（２）強盗

＜邦人被害＞

情報無し。

＜邦人関係以外の事例＞

・プレトリア西方約２０キロメートルに位置する湖（プレトリア及びヨハネスブルグ在住者が週末に多数訪れる行楽地）にあるロッジで、宿泊客が３名の武装強盗団に刺され重傷を負った。（２月中）

・プレトリア市内を通るＮ１４（国道）上で、強盗団が路上に岩を放置し、これを取り除くために降車したドライバーを襲う強盗が複数件発生していると、国家警察が注意喚起を行った。（２月中）

・自動車メーカーのクライスラー＆フィアット社の南ア支社長が、ヨハネスブルグ市内ウッドミード地区（館員及びその家族が買物等に立ち寄る場所付近）において強盗団に撃たれ重傷を負った。支社長が午後２時頃、妻を助手席に乗せ運転中、前を走行していた車両

が急ブレーキを踏んだため、回避を試みたが間に合わず前車に追突した。様子を見るために降車したところ、車から降りてきた強盗団に銃で撃たれ、ハンドバック、宝石類を強奪された。同社は本社から警備担当官を南アへ派遣し、社長・社員らの警備強化を図った。（２月中）

・館員居住区域内のメンリン・ショッピングセンター内において、宝石店を狙った武装強盗事件が発生した。買い物客１名が銃で頭を撃たれ負傷。（３月中）

・館員居住区域内のグローブ・ショッピングモール内において、宝石店を狙った武装強盗事件が発生した。店主が銃で応戦し、犯人が負傷した。（往電警対第６４２号にて報告済み）（３月中）

・安全とされる新型高速鉄道「ハウ・トレイン」の駅（ヨハネスブルグ国際空港駅の隣駅：マルボロ駅）直近でカージャックが発生した。妻を自家用車で迎えに来た夫が、駅前の車中で待っていたところ、けん銃を持った強盗団が現れ、夫を銃撃、車両を奪って逃走した。同列車の警備態勢が問題となったが、鉄道側は「駅の外は当方警備の管轄外」と抵抗した。（３月中）

（３）強姦

＜邦人被害＞

情報無し。

（４）その他

＜邦人被害＞

・（窃盗・車上荒らし）

午後０時頃、被害者はレストランで食事をするために直近の駐車場に自家用車を止めたが、約１時間後に戻ってみると、トランクに入れておいた鞄（ＰＣ、書類、旅券等在中）が盗まれていた。

・（窃盗・車上荒らし）

午後６時頃、被害者は買物のためコンビニエンスストアの駐車場に自家用車を止めたが、１０分後に戻ってみると、トランクに入れておいた鞄（ＰＣ、電子手帳、携帯電話、書類等）が盗まれていた。

・（窃盗・スマッシュ＆グラブ）

午前１時３０分頃、運転中の被害者が交差点において信号待ちをしている際、突然近寄ってきた黒人の男にレンガ様の物で助手席側窓ガラスを割られ、助手席足下に置いてあったバック（旅券、書類等在中）を盗まれた。

３　テロ・爆弾事件発生状況

情報無し

４　誘拐・脅迫事件発生状況

＜邦人被害＞

情報無し

５　対日感情

良好だが、裕福な国民と認められ、強盗等の標的とみなされることが多い。

６　日本企業の安全に関する諸問題

事務所強盗・窃盗が増加傾向にあり、個々の警備対策が不可欠となっているため、警備員を雇用する企業が多い。

７　日本人安全対策のためにとった具体的措置

・１月２５日、アルジェリアのプラント襲撃事件に関し、在留邦人へのお知らせを発出し、本省が発出した渡航情報を当館ＨＰにリンクを掲載して、同情報の提供を呼びかけた。

・３月１４日、宝石店を狙った連続強盗事件の発生に関し、在留邦人へのお知らせを発出し、情報提供及び同種事案に遭遇した場合の対処方法の注意喚起を行った。